

臨床研究に関する情報公開(一般向け)  
「急性膵炎治療の診療科間・施設間差異の実態調査(多施設共同研究)」  
へご協力のお願い

— 2010年1月1日～2016年12月31日までに三重大学, 東京大学, 東北大学, 東京医科大学, 秋田赤十字病院でDPC算定実績ファイルを用いて, 医療資源を最も投入した傷病名が「急性膵炎」であった方へ—

研究機関名 三重大額医学部附属病院

研究責任者 三重大学 肝胆膵・移植外科 教授 伊佐地 秀司

研究分担者 三重大学 肝胆膵・移植外科/医療情報部 講師 安積 良紀

三重大学 肝胆膵・移植外科 飯澤 祐介

## 1. 研究の概要

### 1) 研究の意義

現在, 本邦では多くの急性期病院でDPC(Diagnosis Procedure Combination)による包括的診療報酬制度が導入され, 今やDPCは急性期病院にとって質とコスト管理のマネジメントツールとして必須のものとなっています. 急性膵炎のDPCには2012年より重症度分類や手術, 処置の有無が組み入れられ, 医療機関の損失を補う形に改訂されました. しかし, 当院1施設でのDPCと出来高の損益の検討を行った結果, ①CT所見のみで重症と判定された症例, ②超重症で長期の集中治療を行った症例, ③超重症で短期間入院だがCHDF, 人工呼吸器管理等の膨大な医療資源が投入された症例では損失が多くなるといった傾向が認められました. 上記の損益の傾向が全国的に共通するものなのかを調査することを目的としています.

### 2) 研究の目的

①CT所見のみで重症と判定された症例, ②超重症で長期の集中治療を行った症例, ③超重症で短期間入院だがCHDF, 人工呼吸器管理等の膨大な医療資源が投入された症例では損失が多くなるという傾向が全国的に共通するものなのかを調査することを目的としています.

## 2. 研究の方法

### 1) 研究対象者

2010年1月から2016年12月までの期間における三重大学, 東京大学, 東北大学, 東京医科大学, 秋田赤十字病院でのDPC算定実績ファイルを用いて, 医療資源を最も投入した傷病名が「急性膵炎」であった症例を対象としています.

### 2) 研究期間

研究期間:2014年10月22日から2016年12月末日まで

資料(情報)収集期間:2010年1月から2016年12月末日まで

### 3) 研究方法

電子カルテより、研究対象者の観察項目を調査して、前述の検討を行います。

### 4) 使用する試料の項目

なし

### 5) 使用する情報の項目

被験者情報: 識別コード、性別、生年月日、入院期間、ICU 滞在日数

急性膵炎に関して: 成因、予後因子、CT grade、急性膵炎重症度、SIRS 診断基準

治療内容: 人工呼吸器、持続緩徐式血液濾過、人工腎臓、中心静脈注射など

血液検査: 白血球数、赤血球数、ヘモグロビン量、ヘマトクリット値、血小板数など

血液生化学検査: LDH、ALP、BUN、Cre、Ca、CRP など

血液ガス分析: PaO<sub>2</sub>, Base Excess、

腹部造影 CT 読影所見

### 6) 情報の保存

研究に関わる関係者は、被験者の個人情報保護について、適用される法令、条例を遵守します。また関係者は、被験者の個人情報およびプライバシー保護に最大限の努力を払い、本研究を行う上で知り得た個人情報を正当な理由なく漏らしません。関係者がその職を退いた後も同様とします。

収集された資料(情報)は対応表を残す方法による匿名化の後に、三重大学 肝胆膵・移植外科に保存されます。研究終了後、個人データは直ちに破棄されます。

### 7) 情報の保護

6)に併せて記載

8) 研究計画書および個人情報の開示(サンプル) あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の 資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等(父母)、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人)を交えてお知らせすることも できます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。この研究はあなたのデータを個人情報がわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの試料・情報が 研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2016年12月31日までの間に下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様に 不利益が生じることはありません。

### 3. 研究資金源および利益相反

この研究では、厚生労働科学研究費を使用します。本研究の実施にあたり、研究責任者および研究担当者は、「三重大学大学院医学系研究科・医学部・附属病院における臨床研究に係わる利益相反マネジメント規程」に従い、三重大学大学院医学系研究科・医学部・附属病院臨床研究利益相反委員会に必要事項を申告し、審査を受け、承認を得ております。したがって、この研究における利益相反の状態は、あなたに何ら危険を及ぼすものではありません。

#### <問い合わせ・連絡先>

所属 氏名:三重大学医学部附属病院 肝胆膵・移植外科 教授 伊佐地 秀司

研究事務局:三重大学医学部附属病院 肝胆膵・移植外科

〒514-8507 三重県津市江戸橋 2-174

電話: 059-232-1111 (内線 6470) (平日:9時30分 ~ 17時00分)

ファックス: 059-232-8095

E-mail: [isaji-s@clin.medic.mie-u.ac.jp](mailto:isaji-s@clin.medic.mie-u.ac.jp)